平成23年11月 1 日

さい議会だより

No. 155

実りの秋、収穫の秋（10月 3 日保育所稲刈り体験）

9月定例会

平成 22 年度決算を認定 ･･･2,3 ページ

漁業振興につながる基金の活用を ･･･5 ページ

一般質問に3人登壇 ･･･7～12 ページ

・発行 佐井村議会 ・編集 議会広報編集委員会 ・〒039-4711 青森県下北郡佐井村大字佐井字糠森20 TEL0175-38-2111 FAX0175-38-2492

平成22年度決算
総額40億円を認定

平成二十三年第三回定例会は、九月六日から九日までの四日間の会期で行われました。

村長から、財政状況に関する報告二件、決算認定七件、補正予算案五件、条例案三件、教育委員の人事案一件の計十八件が提出され、それぞれ全会一致で原案どおり決しました。

平成22年度各会計の決算

会計		歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	基金繰入額
一般		30億2290万円	29億5584万円	6706万円	2172万円
特別会計	簡易水道	1億284万円	1億284万円	0円	
	下水道	1億7615万円	1億7615万円	0円	
	国民健康保険	4億1719万円	4億1646万円	73万円	37万円
	老人保健	35万円	35万円	0円	
	介護保険	2億6166万円	2億4777万円	1389万円	694万円
	後期高齢者医療	2190万円	2160万円	30万円	
合計		40億299万円	39億2101万円	8198万円	

平成２２年度　決算審査報告
徴収体制を確立し滞納解消に努めよ

歳入では、交付税が増額交付となっているものの、漁業所得、給与所得の減に伴って税収の伸びは期待できず、貴重な自主財源の確保に積極的に取り組むことを求めます。

また、平成二十二年度において村税、国保税は差し押さえや公売等によって徴収率が上がったことは評価できますが、奨学金は滞納額が減らないことから、徴収体制を確立し回収に努めてほしいことを要望します。

歳出においては、今後の財政運営も限られた予算を効率的・効果的に活用するよう望むものであります。

平成二十二年度決算に係わる実質公債費率及び将来負担比率は早期健全化基準を下回り、また平成二十一年度より比率が減少しており当村財政は健全に運営されていると認められます。

今後においても一層の財政健全化に向けた諸般の取り組みをしていただくようお願いし、決算審査報告といたします。

決算審査報告をする奥本代表監査委員

平成22年度一般会計　6706万円の黒字決算

総括審査

村内の経済は悪化
村民のための経済対策の強化を

竹内典和委員

決算の結果を見れば黒字で大変良好であるが、村の経済を考えると大変落ち込んでいると思う。

赤字を出してまでとは言わないが、村民のためにもう少し手厚く経済対策を立てるべきでないか。

今後も意見聞き進めていく

村長

平成二十二年度決算が黒字になったことについては、住民や職員の理解を得ながら、日頃行政運営をしてきたことの努力が実ったものと思っている。

「金を出すものには出す、行政でできることはやる」という意気込みで行政運営を進めていきたいし、みなさんの意見もなお一層拝聴していくつもりである。

各会計補正予算案を可決

水産振興基金事業補助金 2745 万円

補正予算の内容

会計		補正前	補正額	計
一般会計		23 億 5633 万 3 千円	9238 万 8 千円	24 億 4872 万 1 千円
		シィライン㈱に対する欠損補助金 2523 万 8 千円 歯科診療所移転改修事業 1320 万 5 千円 水産振興事業補助金 2745 万円 災害対策用資機材購入費 748 万 9 千円 佐井小学校改修事業 232 万 5 千円 ほか		
特別会計	国民健康保険	4 億 2351 万 8 千円	141 万 5 千円	4 億 2493 万 3 千円
	介護保険	2 億 5018 万 7 千円	569 万 3 千円	2 億 5588 万 0 千円
	後期高齢者医療	2343 万 7 千円	0 千円 ※歳入の財源調整のみ	2343 万 7 千円

審議した主な議案

○専決処分した事項の承認について（平成二十三年度一般会計補正予算（第二号））

子ども会ねぶた作成事業がコミュニティ助成事業助成金の交付決定を受けたことによる補正。

七十万円を増額。

○佐井村水産振興基金条例の一部を改正する条例

佐井村漁業協同組合策定の水産振興計画を実施する財源として活用するため改正する。

○災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

本年三月十一日発生の震災に伴い、支給対象となる遺族の範囲に兄弟姉妹が加えられたため改正する。

○佐井村奨学金貸与条例の一部を改正する条例

奨学金返還金の遅延・滞納防止のための返還条件を緩和するため改正する。

総括質疑

計画的な職員採用を

職員採用については

山口議員　職員の採用状況は。

村長　職員の採用については、年次計画どおり採用している。

適材適所を考え提案した

山口議員　今回の提出案件の中に、教育委員会委員の任命について提案されているが。

村長　人事案件については、やはり適材適所と考えているのでご理解願いたい。

新任 教育委員 樋口秀視さん

教育委員　辻　忠義氏が平成二十三年六月三十日をもって辞職したため、後任として樋口秀視氏を教育委員に任命することに、全会一致で同意しました。

樋口秀視さん
（古佐井）

水産振興基金　3年間で1億5千万円の取り崩し

基金の慎重な活用を

坂井委員

水産振興基金を取り崩した事業が三年前から実施された。

今回もまた今後三年間の計画があるが、なかなか成果が見えない中、同じような計画に基金を注ぎ込むことに懸念を感じている。

この計画では三年間で一億五千万円の取り崩しになるが、不漁対策的な要素も入っているようであり、果たしてこれが漁業振興につながっていくのか疑問である。

今後の基金の活用については、成果を十分精査しながら漁業振興につながるような活用をしなければならないと考えるが。

漁協へ意見を伝えた

村　長

電源開発㈱からも「安易に取り崩すのはいかがなものか。今後十分考えるべきでないか。」と言われている。

大事な基金であるため、漁業協同組合には傭（よう）船料なども漁業振興になるのか等意見を言っている。

また、収益があった場合は基金へ繰入れしてほしい旨も伝えている。

基金の性格　理解求めるべき

坂井委員

漁業者はこの基金の性格をよく理解していない部分もあると思うので、担当課長等は改めて理事会などで説明してもらいたいと思うが。

理事会で説明し　理解得られた

産業建設課長

基金の活用については理事の方々も十分理解していない部分があったようで、再度理事会で説明したところ、理解を得られた。

つくり育てる漁業は成果が見えるまで年数がかかるため、理解と協力をお願いしたい。

青森佐井航路維持事業費補助金2523万円

シィライン㈱への補助金の内訳は

田中委員

シィライン㈱の欠損金に対しての補助金・特別交付税の内容は。

県の補助と特別交付税で支出

村　長

シィライン㈱の赤字補てん額は二千五百二十三万七千六十八円で、そのうち半分が県の補助、残り半分が特別交付税で来ていると思っている。

村としては国へ要望した以上に特別交付税が配分されているため、国は準離島航路の状況を把握してくれているだろうと思っている。

ツアーでシィラインを利用する観光客（青森発着所）

佐井中学校スクールバス
専用の車庫が必要

現在は学校前に青空駐車している

田中委員
補正予算に佐井小学校の改修事業業務委託料二百三十二万五千円計上されているが、その内容は。

国の補助を活用し設計する

教育次長
核燃料サイクル交付金を活用することから、概略設計の予算である。
内容は外壁や屋上、体育館の屋根など補修の必要な箇所を調査する。

佐井中スクールバスの車庫が必要

田中委員
昨年度購入した佐井中学校のスクールバスは、車庫がないため学校敷地内に青空駐車している。
傷が付いたり塩害で錆びたりするので車庫が必要と考えるが。

どのくらいの経費か調査する

村　長
大変ご心配をおかけしている。
現状でいいのか悪いのか含め、車庫を建てるためにどのぐらいの予算がかかるのか教育委員会に指示し調査したい。

廃材を再利用し建てる考えは

田中委員
せっかく購入した公用車を大事にするため、解体した旧消防分署などの廃材を再利用し車庫を建てることは考えなかったのか。

検討していなかった

村　長
そこまで検討していなかった。

佐井村奨学金貸与条例の一部改正
滞納解消へつながるか

川畑委員
奨学金に関する条例の一部改正により、利用者の方々に奨学金の返済がしやすくなり滞納の解消につながることを期待しているが、今後の取り組みは。

一つの方法である

教育次長
月額を少なくすることによって返済期間が長くなるが、返しやすい環境になるのではないかということから、新規の滞納を防ぐ一つの方法であると考えている。
今後も滞納解消に鋭意努めていきたい。

佐井村奨学金貸与条例の主な改正点

○返済期間を「貸与期間の２倍の期間」から「貸与期間が３年以下の場合は10年の返済期間」、「貸与期間が３年を超える場合は20年の返済期間」とした。
（例）貸与期間が３年間の場合
現行　貸与期間の２倍→６年間で返済
改正　10年間で返済

○返済の開始期日を「１年を経過した月の翌月から」を「６月を経過した月の翌月から」とした。
（例）平成24年３月に高等学校などを卒業した場合
現行　平成25年４月から償還開始
改正　平成24年10月から償還開始

子宮頸（けい）がんワクチン 接種費用助成の対象を拡大

川畑委員
子宮頸がんワクチン予防接種費用が、今回の補正で国の補助対象外となる高校二年生、三年生の分の予算が計上されている。
対象者を拡大した理由は。

保護者及び村長の思いがあり拡大

参事・住民福祉課長
保護者からの要望、また、村長から村の将来を担う子どもたちのために等しく行政サービスを受けられるようにとのことで対象者を拡大したものである。
対象の高校二年生、三年生が十四名おり、なるべく多くの方が接種するようPRに努めていきたい。

中学校武道の必修化 生徒の安全対策は

宮川委員
福浦、牛滝中学校で剣道、柔道を授業で取り入れるための予算が計上されているが、指導者についてはどうなのか。

専門の指導者はいない

教育次長
専門の指導者はいない。
競技大会などへ出るためのものではなく、授業の一環として行うものである。

授業で事故など起きないか

宮川委員
既に佐井中学校では取り入れているとのことだが、専門の指導者がいないと授業時に事故など起きないか。

安全対策は十分である

教育次長
平成二十四年度から体育の必須となる。
今までも体育の授業ではケガなどしないよう対応策を考えながら行ってきているので心配はないと考えている。

安全対策を万全に（佐井中学校体育祭）

高額なシステム更新料 専門職を採用してはどうか

竹内典和委員
村予算の中で各システムのソフトの更新料が高額になっているが、外注するよりもシステムの技術者を採用し、独自に更新したほうが安く、早くできるのでは。

現状で十分対応できている

参事・総務課長
電子計算費の占める割合は財政にとって大きなウェイトを占めているが、敢えて専門的な職員を採用しなくても十分対応できると考えている。

経費の面考えれば必要ではないか

竹内典和委員
各課共、一般会計や特別会計で大分支出している。専門職を採用すれば経費節減になるのではないか。

検討したい

参事・総務課長
具体的には対比していないが検討したい。

指定管理者制度を導入し6年
制度導入後の観光施設の検証結果は
村長――各事業者が工夫しながら運営している

竹内典和議員

竹内典和議員
佐井村が初めて指定管理者制度を導入して六年目になる。
その中で観光施設（願掛公園野営場、森林体験館、津軽海峡文化館アルサス）の制度導入後の経費面を除いた検証結果は。
また、効果と入込数や売上等も含め伺いたい。

計画どおり運営されている

村長
願掛公園野営場、森林体験館については、計画どおり運営されている。
さらに、利用者のサービス向上に取り組んでいる。
アルサスについては、利用者の利便性向上や経費削減に努め、地域活性化の中心的役割を果たしているものと評価している。

入込数と売上等の比較については把握していない。

指定管理者にするメリットは

竹内典和議員
施設の運営を行政から民間にした違い、メリットはあるか。

経費の削減、運営方法の違い

村長
経費の削減、施設の運営方法の違いの二点がある。

十分に施設を活用できているか

竹内典和議員
要するに行政がやれないことを民間がやっているということか。

そう思っている

村長
そう思っている。

事業計画や取り組みは

竹内典和議員
指定管理者に採用された各事業者の事業計画や取り組みの内容は。

周辺と共同した事業の実施など

参事・総務課長
アルサスについては、アルサス及び佐井村観光の情報発信やアルサス活性化協議会を設立して地域特産物のPR、アルサス市の開催、ほかの団体への事業の協力・後援、また各種自主事業を開催し周辺の活性化を図っている。

満足できるサービスの提供など

産業建設課長
願掛公園野営場は宿泊者への山の幸の提供やその他薪割り、花壇づくり、チラシ製作等行っている。
森林体験館は、陶芸や木工教室の開催、施設PRのための村内イベントへの参加を行っている。

3年ごとの公募は行ったか

竹内典和議員
制度開始当初は、それ相当の成果があるものと期待していたが、あまり変化がないように思われる。
当初、三年ごとに公募するとのことだったが公募したのか。

実績評価し公募しなかった

参事・総務課長
前任者が効果的・効率的な実績が評価されるもの、事業効果が相当程度期待できるものについては、公募によらず指定管理者の候補者になれるという条例があり、公募によらない選定とした。

冬は毎年イルミネーションを行っている（アルサス）

今年のうにまつりは「いくべえ」も参加し誘客を図った

早く周知すべき

竹内典和議員　制度スタート時点でその旨の説明がなければ不公平感もあり、早めに住民に周知すべきではないか

十分協議し周知する

村　長　公募については十分協議し周知する。

村の観光振興施策は

竹内典和議員　複数の観光施設の連携による観光振興が見えないが、村全体の施策はどこが担ってどういう施策があるのか。

官民一体の事業に取り組んでいる

村　長　本年度「さいツーリズム構築プロジェクト協議会」、さらには「ふっくら漁村体験ツアー事業」で住民参加による調査検討がされており、官民一体となって取り組むことで施設の有効活用につながると思っている。

村が主導権持ち推進すべき

竹内典和議員　たくさんある観光施設を効率よく使い、村全体として観光振興を考え、主導権をもって事業を推進すべきと考えるが。

そのとおりである

村　長　そのとおりである。銘々やっても効果は出てこない。官民一体となり進めていきたい。

経営状況の検証が必要では

竹内典和議員　指定管理する施設の補修費について、管理者負担となるのはどの程度か。

また、各指定管理者の経営が困窮していると聞くが、行政として検証をしっかりしたうえで支援することが必要では。

必要になれば協議したい

参事・総務課長　施設の修繕は、村と協議して実施することとなっており、概ね五万円以内が管理者の負担となる。

指定管理料の変更については、管理者から申し入れは現在ないが、もしそのような事態が生じれば協議に応じたい。

実情は相当厳しいと思うが

竹内典和議員　指定管理者の実情は相当厳しいと思う。立場上、お願いできないと思っているようである。

そのようなことも周知し指導すべきでは。

現状把握し話し合う

村　長　現状を把握したうえで連携を取り、協議の場を設ける。

指定管理者と一緒になり動くべき

竹内典和議員　単に経費節減のみでなく、質の高い公共サービスの提供を誰がどのように提供するのかなど、行政は仕事を丸投げせず積極的にリードしていくべきであると思うが。

信頼関係太くし進める

村　長　指定管理者と行政が信頼関係を太くして肝に銘じて進めていく。

国の補助金などを利用して施設の塗装などを行っている（森林体験館）

宮川 尚議員

震災で打撃を受けている観光業
誘客のための取り組みは
村長――観光客数の回復に向け、各団体が努力している

宮川議員
東日本大震災による影響は観光業にも大きく出ていると思う。
仏ヶ浦や当村での各種イベントに訪れた観光客数は。

8月末現在 昨年度比67％減

村　長
八月末現在で、仏ヶ浦へは二万二千百七十三名の観光客が訪れ、昨年と比べ六十七％の減少であった。
イベントでは「うにまつり」に約四千五百人、「夏まつり」に約千五百人の来場者があった。両イベントは昨年より増加している。

どの程度の落ち込みか

宮川議員
観光業者はそれぞれ努力しているが厳しい状況である。
今年度の仏ヶ浦への観光客数の入込予想はしているか。

まだ予想していない

産業建設課長
まだ入込予想は立てていないが、観光客数は徐々に回復してきている。

回復傾向にあるがまだまだ厳しい

村　長
観光客数は回復傾向にあるが、観光船の業者は厳しい運営を強いられていると思っている。

ケビンハウスは

宮川議員
ケビンハウスの利用状況は。

徐々に昨年並みに近付いている

産業建設課長
八月末の利用状況は昨年並みに近づいているとのことである。

イベントの事業評価は

宮川議員
各種イベントについて、それぞれ団体等が工夫して一生懸命やっていると思うが、村は事業評価をしているか。

それぞれ努力し誘客を図っている

村　長
今年度で六回目となった「うにまつり」は早い段階から広報活動を実施し、観光客の増加が図られた。県内外に定着されてきていることが伺える。
「夏まつり」の花火大会は夏の風物詩となっており、今後も継続すべきと考えている。

より一層の支援が必要では

宮川議員
震災の影響は来年、再来年と続くかもしれない。
行政として業者と一緒になって情報発信するなどの手助けが必要ではないか。

観光大使などでPRしている

村　長
昨年製作した「市原悦子佐井村を行く」を観光PR用DVDとして製作し関係機関へ配布している。また九月にはCS放送において再放送が複数回予定されている。
昨年八月には、横山ひできさんを佐井村観光大使に任命し、さまざまな機会で広くPRに努めてもらっている。

住民から色々な意見が出ているが

宮川議員
先日開催した第四次長期総合計画審議委員会の中で、仏ヶ浦を世界自然遺産登録に向け進んだらどうか、また、観光事業の情報発信施設の整備などが話題になったと聞いているが。

一緒になって考えていきたい

村　長
世界自然遺産の話は始めて聞いた。現実になるかならないか別としても、一緒に考え、情報を提供するのが行政の務めだと思っている。
施設整備のことは聞いており今後の参考にしたい。

ジオパークの登録に向け動いている

参事・総務課長
下北期成同盟会の中で下北一円を特異な地質のある公園ということで、世界的なジオパークとして登録に向け昨年から取り組んでいる。

ジオパークとは
地球科学的に見て貴重な地質遺産を含む、自然公園。地質遺産を保護し、地球科学や環境問題の教育・普及活動を行うとともに、観光資源として地域の活性化に役立つものであり、地質災害に対する理解や防災への取り組みにも貢献するものとして期待されている。

昨年の大雨災害から１年

災害復旧工事は進んでいるか

村長――全７工事中、５件が完成している

宮川議員　昨年の大雨災害により整備し完成した工事件数と場所は。

完成工事　５件
未完成工事２件

村　長　県発注で完成した工事数は三件、村発注では二件。未完成工事は国庫補助事業での二件となっている。

※左表参照

完成した工事と未完成工事の内訳

○県発注工事
①古佐井川河川災害工事
・細川建設㈱会社裏側右岸　復旧延長 33.3m
・古佐井川、薬研佐井線沿線旧砕石山付近右岸　復旧延長 64.0m
②国道 338 号道路災害復旧工事
・スイミングハウス付近の道路擁壁　復旧延長 8.0m

○村発注工事
①村道川磯線道路災害復旧工事
・村道川磯線川目集落から 650m付近　復旧延長 15.4m
②藤太沢河川災害復旧工事
・川目墓地付近　復旧延長 23.7m

○未完成工事（県発注工事）
①国道 338 号道路災害復旧工事
・長後バイパスから約１ｋｍ福浦方面
・矢越大沢地区

矢越大沢地区の工事が遅れたのは

宮川議員　未完成の工事の中で、矢越大沢地区の復旧工事が遅れた原因は。

相続に時間を要したため

田名部副参事　ほぼ一年間現場がそのままになっていたのは、一部が民有地となっており、所有者が亡くなっていたため相続に時間を要したものである。

危険個所の把握は

宮川議員　今後大雨等により、また同じような災害が起こりうる箇所の把握はしているか。

松子沢は整備が計画されている

産業建設課長　松子沢（古佐井）は道路や山林の冠水などの被害をもたらしている。

昭和五十年代からの懸案事項となっていたが、県では県営治山事業として二カ年で県道薬研佐井線まで整備する計画で進められている。

並行して、県道薬研佐井線から古佐井川までの整備は村が事業主体となり整備しなければならないことから、県へ小規模治山事業で採択していただけるよう要望していきたい。

役場庁舎の耐震診断結果は

宮川議員　国の経済対策交付金を使用して行った役場庁舎の耐震診断の結果はどうだったか。

一部耐震性に問題あり

村　長　役場正面受付棟及び事務棟は目標値をクリアしており耐震性は問題なかった。

しかし、議会議事堂を含む振興センター棟二、三階の海、山側の外壁は目標値を下回り耐震性に問題があるため、現在耐震補強の設計を行っている。

歯科診療所の移転最終案は

宮川議員　佐井歯科診療所の移転最終案がまとまったようだが。

来年４月開業予定

村　長　旧青い森信用金庫佐井支店を改修して移転する。

一階は歯科診療スペース、待合室、事務室、公金収納スペースを設け、段差のないバリアフリー仕様とする。

診察台の間にはプライバシーに配慮し、可動式の間仕切り壁を設置する。

ＡＴＭ利用者の冬期間の強風に考慮し、出入口前ポーチに風除けを設ける。

今後のスケジュールは年度内に完成し、来年四月開業を目指す予定である。

現在使用している医療機器は

宮川議員　医療機器は新診療所で使えるものと使えないものがあるか。

そのまま移設する

参事・住民福祉課長　コンプレッサー、レントゲン、歯科ユニット等の機器についてはそのまま移設し使用する。

ただ、耐用年数が過ぎているものについては計画的に順次整備していく考えである。

年々減少する観光客 アルサスを「道の駅」として計画できないか

村長――各種団体、商店などから意見聞き考えたい

山口捷夫議員

山口議員
村は第四次長期総合計画を策定し、新たなむらづくりに向かってスタートした。
計画事業を進めていくためには拠点となる施設等が必要と考えるが、アルサスを「道の駅」に指定し、そこを拠点とし計画を進める考えはないか。

条件整えば申請は可能

村　長
条件が整えば認定申請は可能と思われる。
道の駅は地域振興施設という側面も求められ、現在のアルサスでは新たに施設改修や維持管理などの財政負担が求められる。
スーパニアハウスの通年営業や潮風協同組合、手づくりマートなどの一層の充実、魅力の創出をお願いしたい。

県へ話し合いを持つことが必要では

山口議員
アルサスはある程度の条件は整っていると思う。
まずは行政が県へ話し合いを持たなくては何も始まらない。
アルサス内、近隣の商店の問題がクリアできれば道の駅設置に向けた対応をしてもらえるのか。

意見聞き考えたい

村　長
周辺のみなさんの意見も聞きながら考えたい。

道の駅指定への状況作るべき

山口議員
道の駅という知名度が減少傾向にある観光客の誘客に大きな役割を果たすと考える。
そのような状況を作っていかなくてはこれからますます厳しくなっていくと考えるが。

まだ踏み切れないところがある

村　長
道の駅のネームバリューは大きな魅力であるが、周辺の商店等のことを考えると踏み切れないところがある。
アルサスは既に十分道の駅の役割は果たしている。

周辺と協議する考えは

山口議員
道の駅を使って佐井村を売り出し活性化を図ることが大事である。
村長は商店、各団体等と協議する考えはあるか。

協議の場を設けたい

村　長
周辺のみなさんから「道の駅化構想」について意見を聞き協議する機会を持ちたい。

早く動いてほしい

山口議員
北通り地域には道の駅がない。設置するまでには一年程かかるため、村長には早く行動を起こしてほしい。

早めにきちんとしたものを出す

村　長
周辺のみなさんの意見を十分に聞き、早い機会にきちんとしたものを出したい。

「道の駅」がアルサスや周辺の活性化となるか

追跡質問

合併処理浄化槽設置の補助金 現在の利用状況は

田中議員
合併処理浄化槽設置に対する補助金制度を今年四月から始めたが、現在の利用状況は。
また、下水道の加入率はどのぐらいか。

2名が申請

村長
現在二名が補助金の申請をしている。中道地区一名、原田地区一名である。

加入率は34%

産業建設課長
八月末現在における下水道の加入率は全体で三十四%と低い状況にある。
地域への利子補給内容の説明等を行い、水洗化率の向上に努めていきたい。
また今後、下水道事業特別会計の財政悪化が懸念されることから、利子補給制度の延伸など加入促進に向けた検討を考えている。

利用が少ない理由は

田中議員
合併処理浄化槽補助金の利用が二名と少ないのは何か原因があるのか。
補助金を五万円くらい追加すれば加入者が増えるのではないか。

PRが足りない

村長
加入者が少ないのはさまざまな理由があると思っている。
まだまだPRが足りないと考えているので、住民に知らせる機会を多く持ち、五万円の追加については参考として受け止めておきたい。

さまざまな補助金を活用しては

田中議員
国や県からのさまざまな補助金を下水道や合併処理浄化槽などに使えばいいのではないか。

対象となる補助金はない

村長
補助金にも色々な制約があり、個人に対しての国からの補助金はない。

町村議会広報研修会に参加　9月28日青森市

青森市「県共同ビル大会議室」において、町村議会広報研修会が開催されました。広報編集委員全5名が参加し、これからの議会広報づくりについて学んできました。広報コンサルタントの深沢徹氏の講義を受けた後、県内5町村の議会広報クリニックが行われ、優れている点、検討・改善したい点についてわかりやすく説明していただきました。

当村議会だよりは、用語・表記など正確で技術的にはよい、さらに個性と魅力ある企画、バランスの取れた紙面構成に努力してほしいとの評価を受けました。今後も住民のみなさんにわかりやすく愛される広報づくりに取り組んでいきます。

講師の広報コンサルタントの深沢 徹 氏

講義を聞く広報編集委員会委員

どもたち

佐井小学校③

1年生 がんばっていること

みんなで囲んでいる水そうの生き物は何かな

若山桜大
まいにち、はやね、はやおきをがんばっています。

岡村弦音
どくしょのじかんに、おしゃべりをしないでいっぱいよむことです。

伊藤大地
ろうかを、はしらないように、きをつけています。

松村早朔
まいにち、がっこうのべんきょうをがんばっています。

横浜拓海
てんきのいいひは、そとでいっぱいあそんでいます。

横浜　柊
まいにち、グラウンドをいっしょうはしることを、がんばっています。

木下晴太
べんきょうのときは、しゅうちゅうしてがんばっています。

高橋柊成
そうじのじかんに、きょうしつがきれいになるようにがんばっています。

橋本　総
あそんだものを、きちんとかたづけることをがんばっています。

大石凌空
あさどくしょに、こえをださないでしずかによむことです。

宮澤寛太
グラウンドを、まいにちいっしょうはしっています。

小笠原　星
まいにち、はやねはやおきをするようにしています。

渋谷裕愛
まいにち、しゅくだいをていねいにやることをがんばっています。

福田那々子
まいにち、べんきょうをがんばっています。

宮川嘉乃
ほんのせいとんなど、せいとんがかりのしごとをがんばっています。

加藤舞美
そうじのじかんに、きれいにそうじをすることをがんばっています。

太田小雪
たいいくがかりで、せいれつのごうれいをがんばっています。

北野　空
ただしいしせいでべんきょうするようにがんばっています。

～未来への財産～

むらのこ

２年生 佐井村への思い・未来の夢

緊張しながらみんなの前で発表です

田畑　空
神楽ふりになって、みんなに「うまいね。」と言われたい。

大石大輝
水族館の飼育員になって、みんなにいろんな生き物を見せたい。

長島優輝
漁師になって、お母さんに魚をたくさん食べさせたい。

磯川颯汰
船の船長になって、お客さんにきれいな仏ヶ浦を見せたい。

津田　怜
かっこいい車に乗ってほしいので、車屋さんになりたい。

東出太陽
やさしい人がたくさんいる村になってほしい。ぼくもやさしい人になりたい。

横浜太地
佐井小学校の先生になって、みんなに科学を楽しく教えたい。だから勉強をがんばりたい。

渋谷姫菜
花屋になって、村のみんなに「きれいだね。」と言ってもらいたい。

七戸文寧
ケーキ屋さんになって、村の人においしいケーキを食べてもらいたい。

畠中小夏
おかし屋さんになって、村のみんなにおかしを買ってもらいたい。

東出美咲
心の強い人がたくさんいる村になってほしい。私も努力したい。

佐賀名月
ドーナツ屋さんになって、村の人においしいドーナツを食べてもらいたい。

樋口美穂
パン屋になって、村の人においしいパンを食べさせたい。

石黒穂乃花
学校の先生になって、村の子どもたちに勉強を教えたい。

金沢紫世
服屋さんになって、冬でもみんなが暖かいようにしてあげたい。

木部亜寿香
お医者さんになって、村の人を助けたい。

須藤恋那
パン屋になっておいしいパンを作り、村の人に喜んでもらいたい。

総務大臣表彰受章

川岸一彦議員が、１２年にわたり佐井村議会議長として議会を運営し、議会活性化や地域振興の活性化に尽力したことにより、総務大臣表彰を受章しました。

【経歴】

平成　3年4月30日　初当選以来連続6期当選
平成11年4月～平成23年4月　議長
平成17年5月～平成19年5月　下北郡町村議会議長会　副会長
平成19年5月～平成21年5月　〃　会　長
平成19年6月～平成21年6月　青森県町村議会議長会　会長
全国町村議会議長会　監事

あなたの声を議会だよりに！

「さい議会だより」の感想、議会への要望、ご意見、ひとことコメント等をお寄せください。
「さい議会だより」へ掲載する際、趣旨を変えずに一部字句の修正や削除を行なう場合があります。
なお、内容によっては掲載されない場合がありますので、ご了承ください。
原稿は４００字程度にまとめてください。
住所・氏名・電話番号を明記のうえ、郵便、ＦＡＸ、Ｅメールでお送りください。

【郵　　便】　〒039-4711　佐井村大字佐井字糠森20　佐井村議会事務局
【ＦＡＸ】　0175-38-2492
【Ｅメール】　si-gikai@sai.e-shimokita.jp

お問い合わせ　0175-38-2111（内線51、52）

～議会を傍聴しませんか～

９月６日（火）午後６時、残暑の厳しい折、夜間議会（一般質問）を２６名の皆さんに傍聴していただきました。

第４回議会定例会は１２月上旬開会予定です。

みなさんの議会傍聴をお待ちしています。

議会終了後は告知端末機チャンネルでも一般質問の様子を音声放送する予定でいますので、ぜひ放送をお聞きください。

詳しくはサイボードでお知らせします。